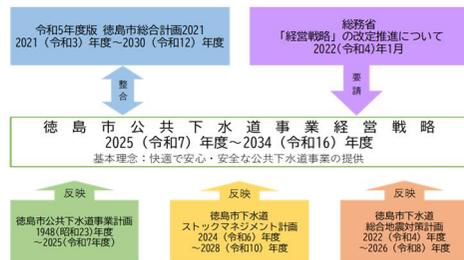


徳島市公共下水道事業経営戦略 2025-2034【要約版】

1. 本市公共下水道事業経営戦略について

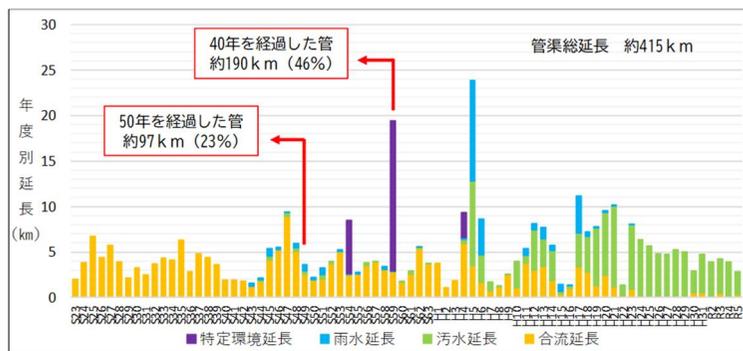
下水道事業を取り巻く経営環境がより一層厳しくなることが見込まれる中、経営環境の変化に適切に対応するとともに、経営戦略の進捗状況に応じ、事業計画や投資財政計画等を見直すことで計画の向上を図り、将来にわたって市民への安心・安全な下水道サービスを安定的に提供するため、中長期的な経営の基本計画である経営戦略の改定を行うもの。



経営戦略の位置付け

2. 公共下水道事業の現況と課題

- ▶ 汚水処理水量は、人口減少や節水型機器の普及により減少傾向である。
- ▶ 使用料収入は、令和 4 年 10 月に使用料改定を行い、一時的に増収となったが、汚水処理水量、有収水量の減少傾向は今後も続くものと考えられる。
- ▶ 総延長約 415 km のうち、標準耐用年数を超過した老朽管は、約 97 km（全体の 23%）を占め、今後 10 年間で 190 km までに及ぶ。



管路施設の状況

経営の状況

- 維持管理費の増加が見込まれ、厳しい運営状態が継続することが想定される。
- 単年度の収支が赤字に転じており、経営改善を図る必要がある。

経営の課題

- 下水道使用料の確保
- 老朽化への対応
- 頻発・激甚化する自然災害への対応

3. 今後の投資・財政計画

○投資計画・・・本経営戦略の基本理念である「快適で安心・安全な公共下水道事業の提供」の実現に向け、今後 10 年間で重点的に実施する具体的施策について投資の合理化を図る。



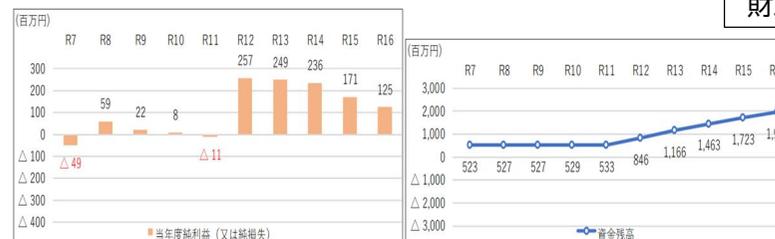
単位：百万円

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
① 汚水対策	265	285	215	170	150	100	140	110	195	100
② 雨水対策※	60	60	100	100	100	150	100	150	150	100
③ 耐震・耐水化対策	310	507	612	560	583	455	589	440	210	230
④ 老朽化対策	1,550	1,655	1,685	1,745	1,890	1,875	1,820	1,785	1,955	1,905
⑤ その他経費	113	113	129	89	89	89	89	91	91	91
計	2,298	2,620	2,741	2,664	2,812	2,669	2,738	2,576	2,601	2,426

※ 市全体の雨水対策により事業費が変動する場合があります。

▶ 主な投資内容は、「汚水対策」、「雨水対策」、「耐震・耐水化対策」、「老朽化対策」となり、年間の総投資額は、概ね 26 億円程度を予定。このうち、最も投資額が大きいものは「老朽化対策」であり、概ね 18 億円程度を予定。

○財政計画・・・使用料収入の予測や投資計画、経費等の見通しを踏まえた収支推計を行い、当年度純利益の確保と資金不足の解消を目的とした使用料改定を、令和 8 年度と令和 12 年度に平均改定率 20%で行う見込みでシミュレーションを実施。



財政計画

▶シミュレーションの結果、当年度純利益は、令和 11 年度に約 1 千 100 万円の赤字となるが、このほかには黒字を確保できるとともに、資金残高は不足することなく、年々増加していき、一時借入金の解消や短期的な債務への資金確保、災害時等の不測事態への備えや老朽化対策の費用確保などの経営改善が図られる